



# 三春中学校だより

第36号

発行日 令和元年11月15日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【日々の積み重ねで「Vサイン」！ ～毎朝、よくがんばっています。～】

このところ、朝の寒さが増してきています。そんな中、毎朝、校門にいくと、グラウンドから、カツカツという足音が聞こえてきます。時にはジャージ、時には白のウィンドブレーカーを身にまとい、走り込みを続ける子どもたちの姿がそこにはありました。

学力向上も運動能力向上も日々の積み重ねと繰り返しが大切です。黙々と走り込む子どもたちの姿を背にして、私もがんばらねばと感じつつ、登校してくる子どもたちを待ち受け、あいさつを交わす毎日です。

校門から見ると、桜の木が二股に分かれ、それが勝利のVサインに見えてきました。



## 【これからもすばらしい演奏を！ ～吹奏楽部3年生、有終の美を飾る。～】

11月2日(土)・3日(日)は、『三春秋まつり』が三春中学校前の町駐車をメイン会場にして行われました。例年頼りにされているわが三春中学校吹奏楽部は今年も大活躍。秋まつりのオープニングを飾りました。

町グラウンドには、わが吹奏楽部の演奏やお祭りの催しを楽しもうと車があふれんばかりに駐車されていました。おそろいのピンクのTシャツを身につけ、特設ステージに陣取った吹奏楽部は、顧問の指揮の下、演奏を披露しました。特に、3年生にとっては最後の一大一番。これまでの部活動の総決算の時でもありました。実にすばらしい演奏となり、会場からは拍手喝采の嵐。演奏者にとっても、思い出に残る演奏となったことでしょう。

このすばらしい演奏を、伝統の吹奏楽部をこれからも大切に、伝えていかなければならないと感じました。



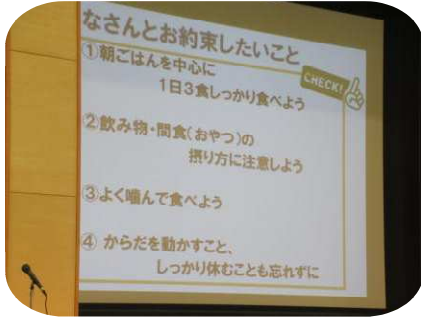
## 【食育を学ぶ！ ～PTA教育講演会が開催されました。～】

11月1日(金)には、本校体育館において、三春中学校父母と教師の会主催『教育講演会』が実施されました。郡山市にある医療法人仁寿会菊池医院の管理栄養士である高橋千春先生のご講演で、演題は、『食から始まる元気なからだ』というものでした。

講演の中では、食べることに関わる4つの約束(“朝ご飯を中心に1日3食しっかり食べる”“飲み物・間食・おやつ摂り方に注意”“よく噛んで食べる”“体を動かし、しっかり休む”)やスマホの使用時間に反比例する数学の平均点のお話なども交えながら、楽しく、考えさせられながら、子どもたちは『食育』に取り組んでいました。



ご存じのとおり、本校は、本年度も、『つながる食育推進事業』を文部科学省より委託され取り組んでいます。PTAのみなさんからも応援をいただき、心強い限りです。  
 食育は、人が幸せになるために、生きることの基本である食べること、しかも、よりよく食べ、学ぶ機会でもあります。講師の高橋先生とやりとりをしながら、子どもたちは食べることの大切さを感じながら楽しく『食』について考えました。  
 折しも、校内の食育コーナーには、“毎日朝ごはんを食べよう～いいことたくさんあるよ～”の文字と写真が掲示されています。それぞれに、そして、連携しつつ、『食育』を推進してまいります。



**【チームの一員として！ ～心を込めてそれぞれの仕事に取り組んでいただいています。～】**

雪が積もると大活躍する除雪機なので、雪が降る前に試運転をしておかなければと、いつも置いてある場所を確認すると、いつもならシートをかぶって収納されている除雪機が、しばらくの間、本体が丸見えで置かれていました。台風が通過したので、その風で飛ばされてしまったのかなと周囲を探しましたが、見当たりません。



用務員さんにうがうと、「カバーが破れていたのだから家に持って帰ってうちのやつに縫ってもらいました。』という返答。ありがたいなあと思うました。また、校庭の植栽に目をやると、実にきれいに除草してありました。また、生徒昇降口のベンチは表面を整えてペンキを新たに塗り直して下さっていました。それぞれがそれぞれの場所で、自らの仕事に責任と誇りをもって、心のこもった仕事をして下さっています。三春中学校の一人ひとりが、三春中学校を支えるチームの一員として素晴らしい仕事をして下さっています。そのことに心より感謝いたします。

**【第3回学校運営協議会開催！ ～地域と共に、地域に生きる。～】**

1月5日(火)に、第3回の学校運営協議会が開催されました。今回は、委員の方々から各地区や地域の行事、その取り組みの様子を出し合ってもらい、中学生が地域の一員としてどう関わっていったらいいのかや学校の活動にどう地域が協力していったらいいのかなどについての要望やお考えをお聞きしました。ほとんどの委員のみなさんに出席いただき、たいへん積極的で建設的な協議となりました。“地域と共にある学校”や“地域に開かれた教育課程”に大いに近づく機会となりました。

